

Japan
Handball
Association



<input type="checkbox"/>	社会人
<input type="checkbox"/>	学生
<input type="checkbox"/>	高専
<input type="checkbox"/>	高体連
<input type="checkbox"/>	中体連
<input type="checkbox"/>	小学生

<input type="checkbox"/>	全国大会
<input type="checkbox"/>	ブロック大会
<input type="checkbox"/>	都道府県大会
<input type="checkbox"/>	

<input type="checkbox"/>	男子
<input type="checkbox"/>	女子

試合番号	そ
------	---

年月日	2022年10月9日(日)
大会名	第77回いちご一會とちぎ国体

公式記録用紙

A	佐賀県						茨城県						B				
新潟市県	市町村	会場	3位決定戦						回数								
栃木県	市町村	会場	3位決定戦														
前半	A 15	B 12	最終結果	A 28	B 25	第1延長	A	B	第2延長	A	B	7mスロー コンテスト	A	B			
7m得点/総数	A 1/3	チームタイムアウト							チームタイムアウト	B							
	1 2457	1 2 2457							1 1753	2 0856	3 1114	4 1/1	7m得点/総数				
No.	佐賀県		G	W	2'	2'	D	DR	No.	茨城県		G	W	2'	2'	D	DR
1	小峰大知		1						1	大山翔伍							
2	梅本貴朗		8						2	佐藤陽太		3					
3	田中大斗		2	1	1				3	藤井駿輔		3	1				
4	三重樹弥		3		1				4	伊藤太一		3	1				
5	中田航太		1						5	所凌央		6					
6	八巻雄一		3						6	神頭匠		1					
7	津山弘也		1	1					7	朝野暉英		3					
8	荒川藏人		3						8	荒嶋弘毅		1					
9	岡松正剛		1						9	大浦和真		4	1				
10	酒井翔一朗		2						10	姉ヶ山京		1					
11	庄子直志		3	1					11	関堯祐							
12	岩下祐太								12	情野翔平							
監督A	岩本真典								監督A	藤本元							
役員B	佐藤良彦								役員B	滝川一徳							
役員C	藤征光								役員C	加藤亮介							
役員D									役員D	佐下橋章太							
A	岩本真典			チーム役員A署名				藤本元			B						
特記事項																	

レフリー	小田 健介	鈴木 孝明	小田 健介	鈴木 孝明
TD	志賀 良弘	宮内 勇作	志賀 良弘	宮内 勇作
MO	海江田 貴嗣		海江田 貴嗣	

得点(G),警告(W),退場(2),失格(D),報告書付き失格(DR)特記事項に報告書として内容を記入

ハンドボール NO.11
第77回国民体育大会いちご一會とちぎ国体

試合結果・戦評報告書

競技日	10月 9日(日)	試合番号	そ	回戦	3位決定戦
種別	成年男子	会場	マルワアリーナ		
Aチーム名			Bチーム名		
佐賀			茨城		
得点合計	小計		小計	得点合計	
28	15	前半	12	25	
	13	後半	13		
		第1延長前半			
		第1延長後半			
		第2延長前半			
		第2延長後半			
		7mTC			

戦評

実業団のトヨタ紡織九州の佐賀に、筑波大学を中心とする大学生チームの茨城が挑む形となった成年男子3位決定戦。序盤は互いに退場者を出しながらも、得点を取り合い、前半10分で5対5と互角の展開が続く。地力に勝る佐賀は、②岩下を中心としたディフェンスから、②梅本が速攻で得点を重ねる。ディフェンスからリズムをつくりたい茨城だったが、佐賀④三重のカットインや⑩酒井のポストシュートなどで3連取を許し、10対7と佐賀にリードされたところで、タイムアウトを要求する。点差を詰めたい茨城は、④伊藤のカットインやミドルなどで3連取し、10対10として試合を振り出しに戻す。その後、茨城は⑥所と⑦朝野の両サイドを、佐賀は⑧荒川を中心として、両チームともに得点を積み上げ、15対12で前半が終了した。

後半は、前半と同様に両チーム得点を重ねる中、茨城が⑨大浦のカットインやミドルで3連取し、後半5分17対16として佐賀に1点差まで詰め寄る。あと1点が欲しい茨城は、7人攻撃を仕掛けるが、佐賀の運動量豊富なディフェンスを崩すことができず、後半9分で21対16とリードを広げられる。その後は、佐賀が鮮やかなスカイプレーを見せるなど、両チーム得点を重ねる時間が続く。さらに点差をつけたい佐賀だったが、7mTを茨城①大山にセーブされ、なかなか茨城を突き放すことができない。①大山のビッグセーブで勢いづく茨城は②佐藤のディスタンスなどで、後半26分26対24と2点差まで迫る。最後は実業団としての意地を見せた佐賀が粘る茨城を28対25で振り切った。

記載者氏名	後藤 秀生	
送信日時	10月 9日(日)	15:25